

'12.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平 一 志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第661号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成24年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲ 二度の経営革新の認定を受けた柏原加工紙株式会社(前列右から二人目: 矢本雅則社長)

Contents

■ 県連合会Letter ————— 2~3頁

- ・ 県青連主張発表大会・幹部講習会
- ・ 商工会管理者研修会・事務局連絡会議
- ・ 経営支援コーディネーター研修会・経営支援研修会(専門)

■ あなたのまちの元気な企業(丹波市) 4頁

■ 商工会Letter ————— 5~6頁

- ・ 食品衛生講習会 …………… (福崎町)
- ・ キッズあきんど …………… (淡路市)
- ・ コラム「ひょうご支援の扉」
- ・ 東日本大震災を忘れない …… (篠山市商工会女性部)
- ・ オジレンジャーCDをプレゼント …… (香美町商工会青年部)
- ・ 淡路手延べそうめん祭り …… (南あわじ市)

柏原加工紙(代表取締役 矢本雅則氏)は、昨年、創立五十年を迎えた梱包包装紙などを製造する老舗企業である。

長引く景気の低迷に伴い需要も低下していくなか、産業用加工紙の新たな方向性を見出そうと、緩衝機能とデザインを両立したラッピング紙を開発した。デザイン向け素材集にも掲載され、本の表紙などさまざまな用途で使用されている。

二度の経営革新の承認を得て、現在は職人による高品質自社製品をブランド化させた「teshio paper」に取り組んでいる。

(関連記事 四頁)

コンセプトは「紙を超えた紙」

「柏原加工紙株式会社」

(丹波市)

県青連 第十八回主張発表大会及び第二回幹部講習会を開催 ―最優秀賞の橋本君(多可町)近畿大会へ―

県商工会青年部連合会(北村 広樹会長)は、去る七月二十七日、淡路市・淡路夢舞台国際会議場において、第十八回主張発表大会、第二回幹部講習会を開催し、県下各地域の青年部幹部



▲橋本君の演題は「人生を変えた商人ネットワーク商談会」

等百三十余人余が参加した。淡路市市長等を来賓に迎えた。主張発表大会では、県下各地区代表の七人が、それぞれ「青年部活動や地域振興・まちづくり」をテーマに活動事例を発表した。最優秀賞は、東・北播磨地区代表(多可町商工

会青年部)の橋本裕司君が受賞。九月六日に福井県で開催される近畿ブロック大会の兵庫県代表として出場する。また、幹部講習会では、地元淡路市の大竹石材株式会社代表取締役の大竹和夫氏が「事業承継と経営革新の取組みについて」をテーマに講演を行った。大竹氏は、自社における事業承継の経緯と経営革新計画の事業計画について、各青年部の幹部に熱く語った。



▲青年部幹部として商工会との接し方を説く大竹社長



▲先輩の有益な講演を楽しく聴く参加者

中小企業から支持される商工会へ

第一回管理者研修会及び事務局連絡会議

県連合会は、七月二十五・二十六日、たつの市・国民宿舎「新舞子荘」において第一回商工会管理者研修会及び事務局連絡会議を開催、二十九人が参加した。

まず、研修会では兵庫県中小企業再生支援協議会・佐治統括責任者補佐から「中小企業金融円滑化法の最終延長を踏まえた中小企業の経営支援のための政策パッケージについて」の講演

があり、金融円滑化法下での中小企業の債務区分の要点、再生可能な企業の見極め方、再生手法等についての話があった。次に、県連合会・安平専務理事から商工会を取り巻く環境について挨拶があり、金融円滑化法終了における中小企業支援の必要性や県下商工会の現在の状況について述べた。

引き続き、事務局連絡会議を

開催し、商工会からの質問として、「利子補給制度について」、「事務局長設置費の収支決算書表記について」、「経済関係の目標値について」、「火災共済手数料について」等があり、意見交換が行われた。その後、県連合会・木南会長が挨拶を述べ、兵庫県火災共済協同組合の山村常務理事から共済事業について説明があった。



▲熱心に聞き入る参加者たち

地域中小企業等の環境経営セミナー

～地域密着・持続可能企業へ～



開催日時 平成24年 9月14日(金) 13:00~17:10 (17:20~19:00 交流会)

講演内容 I 「ISO26000を企業経営にいかに関与させるか」
神戸山手大学准教授 環境経営学会理事 井上尚之氏

II 「中小企業の経営をサポート」
兵庫県商工会連合会 経営支援課長 中村嘉雄

III 「中小企業のCSRへの取組み ～地域密着・持続可能企業へ～」
京都精華大学准教授 環境経営学会理事 服部静枝氏

IV 「エネルギーをいかに削減するか
～エネルギーマネジメントISO50001について～」
一般社団法人日本能率協会 審査登録センター CS・マーケティング部統括部長 武中和昭氏



服部静枝氏

開催場所 神戸山手大学1号館

336教室 ☎078-341-6060

参加費 無料 (交流会は参加費3,000円)

募集定員 先着200人 (要申込・定員になり次第、締め切らせていただきます。)

申込締切 平成24年9月4日(火)まで

主催 神戸山手大学、兵庫県商工会連合会、一般社団法人日本能率協会、環境経営学会

後援 兵庫県、神戸市

お問い合わせ先 経営支援課 (中村・伊藤) TEL 078-371-1362 FAX 078-371-4452
*詳細は、県連HPをご覧ください。(http://www.shokoren.or.jp/)

経営支援能力の レベルアップを目指して

経営支援コーディネーター研修会及び 経営支援研修会の開催

県連合会は、職員の経営支援能力のレベルアップを目指し、次の研修を行った。

経営支援コーディネーター 研修会（研修A）

七月十二〜十三日に福岡町・中小企業大学校関西校で経営支援コーディネーター研修会（研修A）を開催した。本研修会は、従来の経営支援A D、C D研修会の未修了者を対象としたもの。一日目は県連合会副主任チー

アドバイザー・上山修一氏から「支援施策を活用した事業支援等を立案できる人材の育成」について、チーフアドバイザー・平林潤氏から「支援案件の『創造的（インテリジェンス対応）』な作り方」についての研修を実施、事例発表として広島安芸商工会の正岡稔氏から、職員同士でチームを組んで企業診断に取り組んだ事例の紹介があった。二日目の研修では、経営革新計画の審査ポイント及び申請書



▲講師のアドバイスをもとに熱心にディスカッション

作成の具体例について、県経営商業課主査・近藤健一氏から説明があり、グループ別ケーススタディではモデルケースを例に支援計画策定について検討した。

経営支援研修会 （専門）

七月十九日、神戸市・川崎工健康保険会館において経営支援研修会（専門）を開催した。

研修一は、芦屋市商工会の山本経営指導員から、原産地証明が必要とされる理由と役割や、証明書発給における必要書類と手続きの流れについて説明があった。



▲原産地証明の説明をする山本指導員（芦屋市）

兵庫県商工会職員協議会 創立10周年記念式典の開催及び 第1回経営支援事例発表大会

1. 事業趣旨

県職員協議会では、今年度県職協創立10周年という区切りの年を迎えることから、標記式典を下記のとおり開催。式典では、職員協議会の運営に対して大きく貢献した職員の功績をたたえとともに、記念事業として「経営支援事例発表大会」を実施する。職員が日々の経営支援の中から他の模範となる支援事例を相互に発表し、職員一人ひとりの経営支援スキルやチームワークの向上に繋げるとともに、関係機関の皆様にも本協議会の経営支援実績や効果をご理解いただき、さらなる経営支援の向上と組織間の連携強化に資することとしている。

2. 事業概要

日時：平成24年**10月27日(土)** 午後1時～
会場：**TKP三宮会議室**（神戸市中央区
磯上通8-3-10三宮三和東ビル11F）
内容：創立10周年記念式典
第1回経営支援事例発表大会
主催：兵庫県商工会職員協議会
共催：兵庫県商工会連合会

3. 事例発表大会・出場資格

- (1) 県内7ブロックの代表者とする。
- (2) ブロック割は次の区分とする。
①阪神、②東・北、③中播磨、④西播磨、
⑤但馬、⑥丹波、⑦淡路

4. 発表テーマ・内容

経営支援の結果としてもたらされた会員事業所の経営改善・業績向上効果、経営指導の成功のポイント、経営指導業務を通じて得られた気づきや学びなど。

研修二は、中小企業診断士の荒木慎吾氏から、事業承継の経営支援ポイントについて、事業承継の総論から経営革新計画の立案方法、経営目標の設定の仕方、また、後継者の資質・条件として経営者になるための三つの資質についての解説があった。例題によるグループワークでは、事業承継するのに重要な財務分析と課題整理を行い、課題解決に向けた取り組みが具体的に検討できていた。

—中小企業と共に50年—

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階
☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757
ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

9月のこよみ

- 5日(水)～6日(木) 近畿ブロック商工会女性部主張発表大会
- 6日(木)～7日(金) 近畿ブロック商工会青年部主張発表大会
- 11日(火) OJT担当者研修会
- 14日(金) 環境経営セミナー
- 19日(水) 職員採用試験(二次)(予定)
- 27日(木)～28日(金) 小規模事業者経営改善資金融資制度講習会
- 28日(金) 商工青年同友会第2回研修会

10月のこよみ

- 4日(木) 第4回県青連正副会長・常任理事会
- 13日(金) 職員昇格試験(筆記)
- 16日(火)～17日(水) 女性部県外交流研修会
- 23日(火)～24日(水) 商工会幹部研修会
- 25日(木) 助成事業公募説明会(予定)
- 27日(土) 県職協創立10周年記念大会
- 28日(日) 青年部ソフトボール大会
- 31日(水) 経営支援コーディネーター研修会

あなたのまちの元氣な企業

柏原加工紙株式会社 (丹波市)

二度の経営革新承認を得て

産業用加工紙メーカーとして事業展開

丹波市柏原町にある柏原加工紙(株)は、昭和三十六年に設立、昨年五十周年を迎えた。設立当初は、梱包包装紙に使用されるターポリン紙を主力に製造販売していたが、近年の包装形態の多様化に伴い、物流には不可欠な産業用加工紙や緩衝材紙、さらに、ラップの紙菅、建築用養生シートなども製造している。

新たな方向性を求めて

平成十八年に一度目の経営革新の承認を受け、計画どおりに



▲製品を説明する矢本社長

実行し、実績は上がったものの、五か年計画の目標には届かなかった。主力である産業用加工紙の需要低迷と景気悪化も重なり、一時は工場稼働率が三割まで落ち込んだ。また、産業用途での加工紙は低価格競争に陥りやすいく状況は厳しくなる一方だった。そのような状況のなか、次の商品開発の必要性を痛感し、産業用加工紙の新たな方向性を見出すと、県連合会の専門家を派遣し、事業を活用、従業員も参画し、二度目の経営革新策定に取り組んだ。

そんなとき、神戸のラッピングショップと出会い、同社が持つ技術・製品にアイデアをブラすれば、ラッピング紙に利用できるかと思いつく。しかし、これまで産業用加工紙に特化した機能を重視してきたため、デザインを重視する一般顧客を対象としたラッピング紙作りには大変苦労した。

そこで、お客様の特定ニーズをとらえて、包装専門家として提案を行う「ラッピングコンサル室」を設置、ジャバラ状の加工紙でワインボトルを包む製品や、エンボス加工紙の封筒などさまざまな商品を考案した。産業用加工紙を使うサプライズが商品をおしゃれに変化させる。平成二十二年に二度目の経営革新の承認を受け、デザイナー向け素材集にも掲載され、本の表紙などさまざまな用途で使用されている。



▲ジャバラ状の加工紙で作られたワインボトルの包装紙

熟練の技で製品を仕上げる

経営革新計画は現在も順調に進んでおり、「ラッピングコンサル室」でのラインナップ、マーケティング等による開発、実用化が第一段階とすれば、現在は第二段階となる計画が着々と進んでいる状況で、自社の包装素材や装丁素材などをブランドイングした「teshio paper」である。「teshio」とは「手塩」のことで、その名のとおり「紙づくり」の工程において「紙」を熟練の技で「手塩にかける」ことである。製造から加工、検品に至るまで必ず職人の手を加え、丁寧に高品質な製品づくりで「紙を超えた紙」をコンセプトとして一般消費者向けの市場を開拓していく計画である。



▲カットされたエンボス紙(右)と表紙に採用された漫画本(左)



▲工場内での作業風景

「teshio paper」は、平成二十四年九月六日〜七日に開催される国際フロンティア産業メッセ二〇一二(神戸市・中央区)に出展予定。

企業間交流は化学反応

矢本社長は、九州や北陸、東京にも自社製品のPRのためのプレゼンテーションや、経営革新企業が集まる交流会にも積極的に参加し、情報交換を行っている。「革新の志の高い企業が集まっているので刺激を受ける。また、異業種ならではの意見が新商品開発のヒントとなり、お互いにより化学反応が起こる。」と語る。そこには「包装材料はすべての物流に必要。ユーザーの気持ちになって製品を作り続けているコンビニエンス・ネットワーク・カンパニー」として、枠にとらわれず新たな視点で製品(商品)づくりに挑む経営者としての意気込みが感じられた。

【企業概要】

企業名/ 柏原加工紙株式会社
代表者/ 代表取締役 矢本雅則
創業/ 昭和36年4月
創本金/ 1,500万円
営業時間/ 8:00~17:00
休日/ 土・日・祝日
連絡先/ 〒669-3309 丹波市柏原町柏原1561
電話: 0795-72-1137
FAX: 0795-72-2726
HP/ <http://www.kaibara-kakosi.co.jp/>

食品衛生講習会

受動喫煙防止と

飲酒運転の根絶を目指して

福崎町商工会・市川町商工会

福崎町商工会(後藤雅一会長)と市川町商工会(中川俊昭会長)は、七月二十三日、福崎町商工会館において食品衛生講習会を開催した。食中毒防止啓発を目的としており、当日は福崎町と市川町の飲食店や食料品販売店など九十二人の参加があった。

この講習会では、兵庫県による「受動喫煙防止条例」と、福

崎警察署による「飲酒運転根絶ハンドルキーパー運動」について説明があった。

参加者は、この講習会で食中毒を出さないだけでなく、自分のお店でお酒を飲んだ方が、飲酒運転により交通事故を起こした場合に、お酒を出したお店も併せて処分される事や、喫煙室整備にあたり、費用の半額(上



▲熱心に聞き入る参加者たち



淡路市商工会青年部

淡路市商工会青年部(植松真二郎)は、七月二十一日、淡路市・明石海峡公園において「キッズあきんどチャレンジ事業」を実施した。同事業は子ども達が商売体験を通して経営者を目指



▲笑顔で「いらっしやいませ!」

してもらうことを目的としており、県連合会の若手後継者等育成事業の補助金を活用し、今年度から参加対象を淡路市内全小

学校に拡大、十三小学校から百二十人が参加した。

今回は同事業を体験したこと

がない児童も多いため、十一月に予定している本番に向けた事前準備の場とした。子ども達は、食べ物ブースやゲームブースに分かれてそれぞれ出店「いらっしやいませ」「いかがですか」など元気な声で接客し、各店舗は大盛況。参加した子ども達からは「お父さんやお母さんの大変さがよく分かった」「初めて参加したけど他の学校の子と友達になれてよかった」など、笑顔があふれていた。

ひょうご支援の扉

「提案します」は信頼関係の構築から

南あわじ市商工会 松崎 文子



加工場の新設計画と補助金申請までお手伝いすることができた。

今回支援事例として紹介するのは、黒豚と猪から生まれた「猪豚」の生産量が全国トップクラスの(株)嶋本食品。主力商品の「ゴールデン・ボア・ポーク」は、猪豚とデュロックの交配で作る高級品で、その九割を「淡路島ブランド」として島外向けに販売している。

嶋本社長は、体制が整ってきたことで、需要増にも対応でき、増収・増益が見えてきただけでなく、地域に雇用の創出というかたちで貢献できる日も近いと実感している。

従来から、冬場はニーズが高いが、年間を通しての安定した需要と供給が経営課題だった。そこで、新製品の開発と販路開拓及び生産性の向上を目的に、6次産業化法に基づく事業計画認定を受けた。特に、ハンバーグやハム・ソーセージ等の新製品開発に向けて、

南あわじ市商工会は、会員事業所への細やかな相談体制をめざし、会員別職員担当制を採用している。巡回等を通じ会員事業所との信頼関係を築くことにより、

デザインや加工業者の選定には、情報もなく困難を極めたが、専門家や、中小機構所属のアドバイザー等の支援を得て、取引先を見つけることができた。結果、

経営課題の抽出やニーズの把握、業績向上に繋がるような積極的な提案を行うことが商工会に求められる「真の役割」と考えている。

コラム

商工会女性部セミナーを開催 「東日本大震災を忘れない、生きるということ」

―篠山市商工会女性部商工会―

篠山市商工会女性部（西尾令子部長）は、七月二十四日、篠山商工会館において東日本大震災で甚大な被害をうけた宮城県女川町商工会女性部木村孝子部長と青山貴博経営指導員を講師に迎え、セミナーを開催した。

青山氏からは、基幹産業である水産業の壊滅的な被害と、福島原発の風評被害により女川町の経済が回らなくなったこと、それでも、青年部員やOBたちが小さなコンテナで店を始めるなど復興のきざしについて説明があった。



▲西尾部長(右)から木村部長(左)へ支援金を贈呈

木村女性部長は「五十五人いた女性部も十一人が犠牲者となった。『奪い合えばなくなり、与え合えば足りる、譲り合えば余る』という言葉の思い出し、避難所では役割分担を決め、一つの家族のように生活をした」との体験談のあと、『この講演がみなさんの防災の一助になればと思う。そしていつか復興した女川にお越しいただきたい』と熱く語った。

参加者は、被災地の厳しい現状と、復興の状況を知り、

地域活力増進事業 品質日本一を取り戻せ！復活！ 「淡路手延べそうめん祭り」を開催

―南あわじ市商工会―

南あわじ市商工会（志智宣夫会長）は、七月七日、南あわじ市「道の駅うずしお」において、「第二十七回淡路手延べそうめん祭り」を開催した。

同商工会は、県連合会の地域

活力増進事業「淡路手延べそうめんブランド確立事業」を実施しており、七十年ぶりに復刻した「ちどり糸」のPRのため十年ぶりに開催した。

当日は、大鳴門橋をバックに



「香美超戦隊オジレンジャーGEO」プロジェクト TEAMソングCDを園児にプレゼント

―香美町商工会青年部―

香美町商工会青年部（松岡大悟部長）は、「香美超戦隊オジレンジャーGEO」のTEAMソングCDを製作し、町内の幼稚園等にプレゼントした。



今春香美町出身の音楽プロデューサーの協力のもとTEAMソングも完成し、町内全ての小学校・幼稚園等にプレゼント。CDには運動会等でも使えるように「行進曲ver.」等も収録しており、夏祭りのショーでは早くもTEAMソングを歌っている子ども達も多かった。

今後の被災地への支援と防災意識の向上に役立てたいと感じた。講演会終了後、篠山市商工会女性部が事業で募った募金を支

援金として贈呈した。引き続き、副部長二人も交えた懇談会では、各班とも大変盛り上がり、貴重な時間となった。

「おのころ糸」「御陵糸」「淡じ糸」に加え、復刻した「ちどり糸」の食べくらべと、「そうめん大喰い競争」が行われ、青空のもと声援が飛び交い大盛況となった。



▲「負けないぞ！」と必死な姿



▲「どれが一番おいしいかな？」と楽しむ参加者

(http://www.awajisoumen.jp/)

ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

最高の信頼をめざして。

SMBC
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

三井住友銀行